

新しいタイプのヤマビル忌避テープ

シヤーリー[®]

特長

使いやすい粘着テープで、確実にヤマビルをシャットアウト。
自由な長さに指でカットできます。



有効成分 リンゴ酸

剤型 テープ製剤 7cm幅×30m / 巻

■ 長靴に使用する場合:1巻きでヒルが発生する4~11月の約8カ月間使用できます。

(処理量片足40cm×左右、5日間貼付/週の場合)

■ 荷姿:1巻(防湿袋入)、6巻/ケース

効果的な
使い方

長靴

剥離紙をはがした後、粘着面を長靴上部に隙間
ができないよう1周巻きにします。
(締め付け部分がある場合はその直下)

地下足袋

剥離紙をはがした後、粘着面を地下足袋上部に
1周巻きにしてからハゼの部分が隠れるよう縦
に貼り付けます。また、脚絆等の地下足袋カバ
ーを使用される場合は、隙間部分を1周巻きに
してください。

例えば、長靴で月~金までの作業の場合、毎週月曜日を貼替の日にする等、連続5日間を目安に交換してください。
地下足袋の場合、テープの着脱を続けることにより粘着力の弱まった個所を、継ぎ足す等の工夫をすることにより5日間程度機能
するものと思われます(裏面参照)。

SES 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

※シヤーリーは住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社の登録商標第6290754号です。
[shirk は避ける、leechはヒルを意味し、shirlee(シヤーリー)と命名しました。]

効力評価試験結果

供試個体

ヤマビル(兵庫県但馬地方の屋外から採取した、最大伸長20mm以上の個体。)中20~35mm、大35~50mm、特大51mm以上とした。

試験方法

35cm×40cmの布の中央にシャーリー(7cm幅)で囲いを作り、その中央部(10センチ角)にヤマビル5~10匹を放って囲いから脱出するヒルの数を30分間観察した。シャーリーは処理後6日間放置し、時間経過に伴う効力を評価した。

(試験図)



(試験結果表)

	処理後の時間毎の脱出数 / 供試数 (放飼後30分観察)			
ヒルのサイズ	1時間後	1日後	3日後	6日後
中	0 / 10	0 / 5	0 / 5	0 / 5
大	0 / 10	0 / 5	0 / 5	0 / 5
特大(参考)	0 / 7			

試験結果

シャーリーはいずれの大きさのヒルであっても脱出させることなく、貼付6日後でも脱出個体はなかった(突破阻止)。(自社試験結果 2019年)

地下足袋での貼り剥がし試験

実使用場合での確認として、長靴又は地下足袋を着用した作業員に対して本剤の貼付性能や着脱具合についてアンケート調査を行った。結果は長靴よりも地下足袋の方が着脱するのが煩雑なため、条件的には厳しいことが反映されたものであった。地下足袋着用時の総括としては、雨や土壌及び水などの影響により貼付状況は大きく左右されるが、毎日着脱しても概ね3日程度は機能すると思われる。また、剥がれかかった部分に継ぎ足し等の工夫を加えることで、5日間の効果持続が期待できるとと思われる。

研究報告書「新規ヤマビル忌避剤(テープ剤)の開発」(東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林千葉演習林)

現場からの声



QUESTION AND ANSWER

直接触っても大丈夫ですか?



表面に直接肌が触れないように、また貼り付ける際は手袋等を使用してください。

装着前の注意点は?



長靴等の汚れをふき取り、乾いた状態で貼り付けてください。

雨の日、剥がれたりしませんか?



靴等の保護を考慮したテープのため水に弱く、剥がれ易くなりますので、その場合は新たに貼り直してください。朝露のついた下草程度でしたら問題なくご利用いただいております。

沢を渡って現場に向かう時は?



あらかじめカットしたものをもちいたゞき、沢を渡り切ってから濡れた面を拭き貼り付けてください。

藪に入る場合の注意点は?



なるべく、後方から1周巻きするようにしてください。

貼り付けたテープを交換する時、剥がしにくい場合がありますか?



長靴等の材質により強力に粘着された場合は、湿らせてから剥がしてください。

使用後のテープの処理は?



可燃物のごみとして廃棄できます。

ヤマビルはジャンプして飛びかかってきたり、木の上から落ちてくることがあると聞いたことがある



尺取り行動で動きますが、あくまで「接触」により人体に移行するもので、飛翔能力は有していません。つまり「頭上又は横(水平)から攻撃する」というのは事実誤認である事が確かめられています。

ヤマビルは頭上から落ちてくることがあるなら、テープも上部(首筋等)に装着すべき?



わざわざ樹上等に登り、そこからリスクを冒して獲物を目指して飛びかかることは生物学的に極めて考え難いことですが、「子どもヤマビル研究会」は、それを実証しています。一方、地上からの上昇速度は想像以上に早いのですが、足元へのシャーリー装着で防げます。なお、座ることは勿論ですが、斜面等にいたものが、人の接触により足より上部に付着することはあり得るので、ご注意ください。

実際に使用する際は必ず商品ラベル及びSDSをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

SES 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町二丁目2番8号

【お問合せ先】 06-6223-7537

<https://www.sumika-env-sci.jp>

